

## 第20回種子島ロケットコンテスト CanSat 部門 **設計計画書**

チーム名	
所属（学校名等）	

### 種目番号（該当するものに☑印）

⑤自律制御カムバック ⑥遠隔制御カムバック ⑦オリジナルミッション

### ミッション内容（該当するものすべて☑印）

カムバック：フライバック式 ローバー式 カムバックではない

画像撮影：動画 静止画

データ取得：GPS 測位 加速度 姿勢 地磁気 気温 気圧

無線通信：無 有（通信規格：

その他：

### 機体諸元

収納時寸法（パラシュート含む）：直径  mm × 長さ  mm

展開時寸法（パラシュート含まず）：横幅  mm × 奥行  mm × 高さ  mm

質量（パラシュート含む）： グラム

### 外観図

**コメントの追加 [H1]:** この設計書の記入にあたっては、「種子島ロケットコンテスト大会要領 ～参加者向け～」を参考にしてください。

ページ数は最大で6ページまでとする。

詳細設計が未完の項目は、予定を記述する。

計画書から大きく変更があった場合は、技術発表会で説明すること。

提出はWordファイルが望ましい、PDFにする場合は、これらのコメントを削除または非表示にすること。

**コメントの追加 [H2]:** アマチュア無線、公衆電話回線、ZigBee、TWE-Lite など。周波数やチャンネルが決まっている場合は記述してください。混信の恐れがある場合、チャンネル調整をする場合があります。

日本の電波法に違反しないこと。

**コメントの追加 [H3]:** あれば自由記述

**コメントの追加 [H4]:** 横幅×奥行×高さ、でもよい。

**コメントの追加 [H5]:** 展開する場合

**コメントの追加 [H6]:** 既存機体の写真、設計図、CADのCG、手書きイラストなど。形状がわかるもの。複数でもよい。

## ミッション定義

**コメントの追加 [H7]:** ミッションステートメントとも  
言います。

目的：この CanSat で何をしたいか、簡潔に。

目標：どこまで達成させたいか。自己の能力を鑑みて、  
達成項目ごとに点数をつけて評価したり、段階的なサク  
セスレベルを定義したりします。

(例)

- ・ ミニマムサクセス：着地に成功し走行開始
- ・ ミドルサクセス：正常な制御履歴を取得
- ・ エクストラサクセス：0m ゴール

## 特徴

**コメントの追加 [H8]:** 独創的な点や、工夫した点など、  
アピールしたい特徴を説明してください。

(例)

- ・ ○○を用いて軽量化
- ・ GPS と加速度・各速度計を用いた複合航法
- ・ 前方カメラで障害物回避
- ・ 展開して固定翼滑空機型になる
- ・ 落下の衝撃に強い構造
- ・ かわいい外観デザイン

## 開発計画

**コメントの追加 [H9]:** 設計・製作・動作試験について、  
開発体制と実施手順を説明し、大会までに無理なく完成  
できるスケジュールであることを示すこと。資料公開の  
ため、個人名の記載は避けてください。

**コメントの追加 [H10]:** この応募書類内で完結している  
こと。

大きな図表や動画などの補足資料をインターネット上  
に置いて URL リンクを記載することは禁止ませんが、  
その内容は審査で評価しません。提出後の変更が可能で  
あるためと、ページ数制限を公平に扱うためです。動画  
なら趣旨が分かる抜粋の静止画を載せるなど工夫して  
ください。